

# 事業概要説明シート

事務事業番号 30361

事務事業名	し尿処理業務		
事業開始年度		担当部署	環境保全部淀川衛生事業所

根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 水質汚濁防止法
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> その他( )
目的 (何のために)	市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を適正に処理する。
対象 (誰・何を対象に)	市民
事業内容	①淀川衛生工場におけるし尿・浄化槽汚泥の処理。 ②淀川衛生工場設備等の維持管理。
類似事業	なし
事業の必要性	一般廃棄物の収集・運搬および処分は、市町村に処理責任があり、市町村自らが行うのが原則であるため。(廃掃法第6の2)

コ ス ト		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員		8.49 人	68,888 千円	9.30 人	75,237 千円	9.30 人	74,400 千円
再任用職員		2.50 人	8,770 千円	1.70 人	5,865 千円	1.70 人	5,901 千円
非常勤職員等		人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)			77,658 千円		81,102 千円		80,301 千円
直接経費(B)			92,935 千円		140,971 千円		161,492 千円
総事業費(A+B)			170,593 千円		222,073 千円		241,793 千円

財源内訳		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
国庫支出金		0	千円	0	千円	0	千円
府支出金		0	千円	0	千円	0	千円
受益者負担 (使用料等)		0	千円	0	千円	0	千円
その他		0	千円	0	千円	0	千円
一般財源		170,593	千円	222,073	千円	241,793	千円

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容		金 額
	脱水汚泥搬出・肥料化処分委託料(16,406) 水処理用活性炭交換委託料(11,235)等		54,564 千円
	淀川衛生工場シーケンサ取替工事(16,800) 淀川衛生工場ワーマンポンプ整備工事(7,665)等		45,468 千円
	光熱水費(30,938) 消耗品費(8,410) 等		40,860 千円

# 事業概要説明シート

事務事業番号 30361

事務事業名	し尿処理業務		
事業開始年度		担当部署	環境保全部淀川衛生事業所

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① し尿及び浄化槽汚泥処理量	kl	25,553	23,998	23,400
	② 脱水汚泥肥料化処分量	t	925	781	750
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① し尿及び浄化槽汚泥処理費/処理量	円	6,676	9,254	10,333
	② 脱水汚泥肥料化処分費/処分量	円	21,000	21,000	21,000
	③				
成果目標 (目標とする成果)	市内収集世帯から搬入された、し尿及び浄化槽汚泥を全量処理し、放流水については水質汚濁防止法に基づき適正な管理を行う。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	なし				
特記事項	なし				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	下水道の進捗状況により、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量減少を見極めた効率的な、し尿処理を行う。			
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集量減に伴う体制の見直しについて検討が必要では。</li> <li>・事業の効率性の検討が必要では。</li> </ul>				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	下水道整備の進捗状況により、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量の推移を見極め、効率的なし尿等の適正処理を行う。また、処理施設は、稼働後約20年が経過し、老朽化が進んでいるため、新たな処理方法への移行時期までの間は、現行体制で継続して適切な施設整備に努める。			